

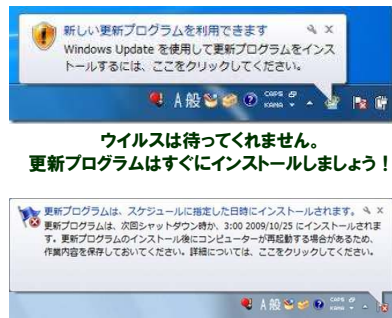
警告メッセージは大切なサイン

こんな時、あなたならどうする？

パソコンを使っていると、時々、「警告メッセージ」を目にすることがあります。しかし多くの場合、表示されているメッセージの意味が難しく、メッセージを閉じてしまうのではないのでしょうか。「警告」はそれ自身が危険なわけではありませんが、そのままの対策も施さずに操作を続けるといろいろな不具合や被害に遭ってしまうかも知れないという、パソコンからの大切なメッセージです。今回は、警告メッセージが表示されたとき、どうするのが良いのか、メッセージの意味と対処法についてご紹介したいと思います。

あなたはいつインストールしますか？

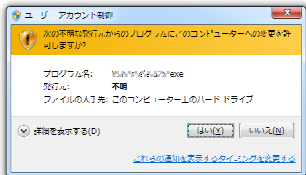
ウイルスはソフトのセキュリティ上の弱点を突いて侵入するため、メーカーは弱点が見つかるたびに修正プログラムを配布しています。Windowsは新しい修正プログラムの有無を随時チェックして、ネット利用を妨げないように少しずつダウンロードし、ダウンロードが完了すると「新しい更新プログラムを利用できます」メッセージを表示します。更新プログラムは、メッセージをクリックしてすぐにインストールするか、シャットダウンの時にインストールができます。もしインストールもシャットダウンもしないで放っておいても、指定時刻になると自動でインストールされます。しかし、セキュリティに関する事なので、インストールは早いと越したことはありません。**メッセージが出たらすぐに更新プログラムをインストールしましょう。**最近ではAdobe Flash Player、Adobe ReaderやJavaランタイムも自動更新を取り入れていますので、メッセージがでたらすぐに対処しましょう。**ウイルスはあなたの更新プログラムのインストールを待ってはくれません。**



ウイルスは待ってくれません。更新プログラムはすぐにインストールしましょう！

突然画面が暗転！あなたが選択するのはどっち？

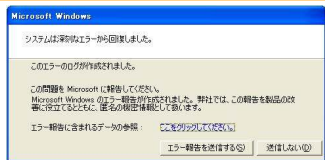
Vistaや7では、ウイルスが勝手にWindowsの設定を変更するのを防ぐため、管理者ユーザーがログインしても、一般ユーザーと同権限で動作し、ソフトのインストールや設定変更など、影響の大きい操作をする場合に「UAC」(ユーザーアカウント制御)の警告メッセージを表示して権限の切り替えを求めます。画面が暗転してメッセージが表示されます。**意図していないときに突然「発行元：不明」の警告メッセージがでたら「いいえ」を選択して処理を中断するのが無難です。**青色のメッセージの場合は発行元を確認して「はい」をクリックして処理を実行しましょう。



確認済みの発行元のあるソフトの場合は青色

エラーの報告よりもその後の対処が大切！

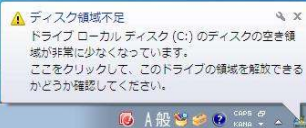
WindowsXPは動作の不安定が原因で再起動した場合、可能な限り正常に起動できるように、不具合を自動修正します。その時に右のメッセージが表示されます。**エラー報告は送信しても、しなくても構いません。報告しても何も起こりません。**それよりも、たびたびパソコンが再起動して、このメッセージが表示されるようなら、そのうち起動できなくなる恐れがありますので、そうなる前に**バックアップ**をとり、最近追加したソフトや周辺機器を取り除くなどの調査も必要です。



頻繁に出るようになると危険です。

ディスクが悲鳴を上げています！ すぐに対処を！

ディスク領域不足になると左のメッセージが表示されます。特に**Cドライブの容量不足はシステムの動作に大きく影響しますので、早急に対処が必要です。**Windowsには、メモリに置ききれないデータをハードディスク上に退避する仕組みがありますが、Cドライブの空き容量が少なくなると、この仕組みが使えず、動作が極端に遅くなります。Cドライブの空き容量が20%を切るようなら要注意！**ディスククリーンアップで不要なファイルを削除したり、外付けHDDなどにデータを移動して、空き容量を確保しましょう。**



パスワードはウイルスに狙われています！

大切なパスワードをブラウザに記録していませんか？インターネットで会員サイトにログインした時に「このパスワードを記録しますか？」とパスワードの保存を尋ねられる時があります。記録しておけば、次回からパスワードは自動で入力される便利な機能なのですが、セキュリティ上はお勧めできません。ブラウザに保存したパスワードを盗むウイルスも確認されています。「**いいえ**」をクリックして**パスワードは記録させない方が良いでしょう。**パスワードはブラウザ任せにしないで、自分でしっかり管理しましょう。



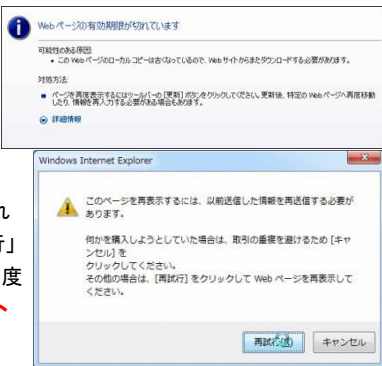
パスワードを記録するのは危険です！

メッセージの指示をよく読んで・・・

インターネット閲覧中

に「Webページの有効期限が切れています」と表示されたことはありませんか。

「戻る」ボタンでページを移動したり、通販サイトなどで、手続きに時間がかかり過ぎた場合によく表示されます。「最新の情報に更新」した時に右の警告メッセージが表示されたら注意が必要です。「再試行」をクリックすると、情報をもう一度送信してしまうので、**通販サイトでは二重に注文してしまったりするので、「キャンセル」を選択しましょう。**通常のWebページを閲覧していたら「再試行」をクリックしても構いません。



通販サイトは「キャンセル」 通常Webページなら「再試行」

今回ご紹介できたのは、たくさんあるメッセージのほんの一部です。他にもいろいろなメッセージがあります。メッセージをキーワードにしてインターネットで検索すれば、かなりの情報を集めることができます。

来年の今頃はWindows8？

次期Windowsの画面が公開されました。今までのデスクトップの他にWindows Phoneのようなタイルが並んだ「Metroデスクトップ」という画面も用意されました。2012年には登場するとのことです。

「Metroデスクトップ」がどれだけ便利なのか、まだよくわかりませんが、**Window8**ではこれまでのデスクトップではなく、Metroデスクトップがベースになるそうです。その他どんな便利機能が追加されるのかはまだわかりませんが、少しずつ情報が出てくるのではないのでしょうか。動作環境については、Vistaや7が動作するパソコンであれば問題なく動くようです。



Windows8のMetroデスクトップ

開発室から

カーナビを頼りにドライブに出かけると、新しい道路の案内がされず、遠回りすることがあります。先日もカーナビに、開通したばかりの高速のICを無視した案内をされてしまいました。帰り道はカーナビを無視して新しいICを利用することにしたのですが、30分ほどの時間短縮ができました。カーナビばかりを頼りにせず、ちゃんと事前にインターネットで調べれば良かったとちょっと反省しています。